

2019 WTS 横浜大会

オペレーションマニュアル【スイム】

【Technical Official 用】

Draft 版

作成者	元嶋 直子
作成日	2019年5月12日
更新日	2019年5月12日
最終更新日	2019年5月12日

目次

配置	3
1. 配置と役割と人員	3
配置図	4
1. TO・ボランティア配置図	4
業務詳細・留意事項	5
1. 共通事項	5
2. リタイア対応	9
3. 業務別詳細および留意点	11
説明のポイント	19
1. 待機エリアでの説明ポイント	19
2. スタートエリアでの説明ポイント	20
3. 競技説明会で伝えてほしいこと(スイムパートからの要望)	20
タイムテーブル	21
備品	22
体制	24

■略語一覧

TD	テクニカル・デディケイト(技術代表)
HR	ヘッド・レフリー(審判長)
TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)
CTO	チーフ・テクニカル・オフィシャル(部門のチーフ審判員)
SCTO	サブチーフ・テクニカル・オフィシャル(部門のサブチーフ審判員)
VO	ボランティア
MD	メディカル、医療チーム

配置

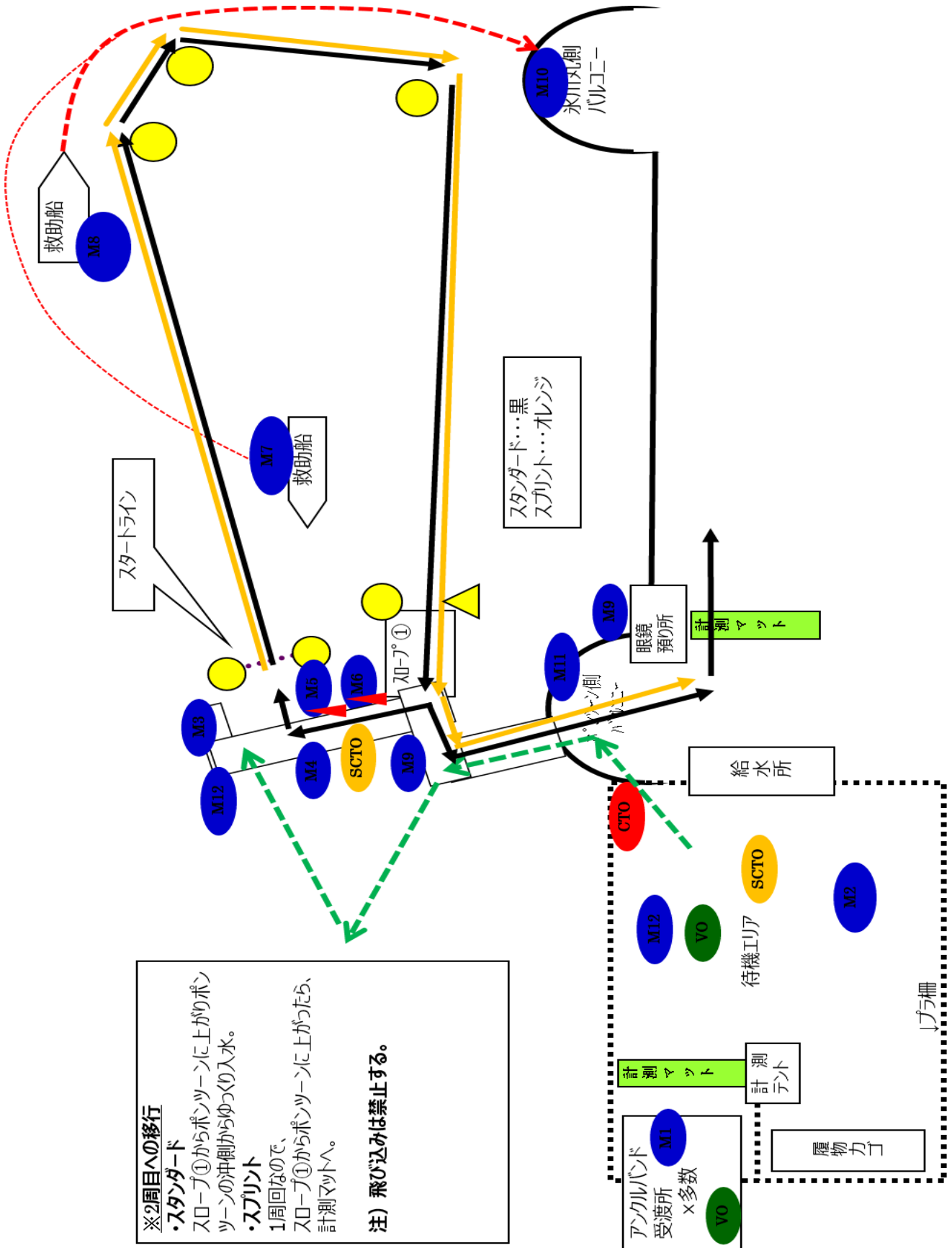
1. 配置と役割と人員

ポジション	役割	業務内容	人員	備考
—	CTO	全体統括	1	
—	SCTO	ポンツーンエリア統括	1	
		招集エリア統括	1	
M1	スイム受付	アンクルバンド、DNF 管理 スイムスキップ補助	3	VO
M2	招集・誘導	招集エリア管理、選手の招集・整列・試泳エリアへの誘導	2	VO
M3	スターター	(兼メディア台側リタイア管理)	1	
M4	スタートコントロール/ 周回管理	(兼周回管理)、	1	
M5	周回管理	(兼水分補給)	1	
M6	タイムカット	周回及び、フィニッシュ時のタイム管理 (兼周回管理、周回誘導、記録サポート)	2	
M7	ポンツーン側救助船	安全管理 スタートコントロール	1	
M8	氷川丸側救助船	安全管理	1	
M9	誘導	リタイア者誘導、トランジション誘導、最終スイム UP 者管理	3	
M10	氷川丸側リタイア管理		3	
M11	記録・連絡		2	
M12	試泳監視誘導	ポンツーン通路誘導	2	

※

配置図

1. TO・ボランティア配置図



業務詳細・留意事項

1. 共通事項

共通事項についてはポジションに関係なく、必ず確認の事。

選手からの質問、近くのポジションへの協力等、速やかに対応できるようにすること。

1.1 連絡体制

- (1) 競技中の選手が緊急事態に陥った場合の救助ルート・連絡体制を把握すること。
- (2) 緊急時には無線、携帯電話を使用する。
- (3) DNS、DNF、スイムスキップの連絡についてはSNSを使用する。但し、リレーのスイムDNFについては、無線を利用し、速やかにトランジションへ連絡する。

《連絡内容》

- ・ DNS/DNF 連絡:アンクルバンドの写真を送付
- ・ スキップ連絡:スキップ者のリストの写真を送付

《送信方法》

- ・ アルバム機能を使用し、各ポジションのアルバムを作成し写真を格納し、アルバムに格納したことを連絡する。
- ・ DNS、DNF、情報はスタートグループ毎の送信を基本とする。

《注意事項》

- ・ 送信は DNS、DNF、スキップ情報等の必要な情報のみとする。挨拶等は必要ない。
- ・ スイム担当者

《SNS 使用エリア》

- ・ スイム担当 (CTO、SCTO、M1、M6、M8、M11)
- ・ 本部、コントロールセンタ(以下 CC)
- ・ トランジション
- ・ スキップ担当
- ・ メディカル

《送受信者/内容》

送信者	送信内容	受信者
M1	DNS 情報	本部、CC
	スキップ情報	本部、CC スキップ担当 トランジション
M11/M6	DNF 情報	本部、CC トランジション メディカル
M8	DNF 情報	本部、CC トランジション
スキップ担当	スキップ情報	M1 本部、CC トランジション

1.2 コミュニケーション

- (1) スイム競技の会場においては、水上TOだけでは対応できないことが多々あるので、付近にいる
- (2) ライフセーバーや潜水士とレース前に十分なコンタクトとっておく。
- (3) ポンツーン上にはメディカルスタッフも配置されるので、密な連携をとる。
- (4) 大会幹部や報道関係者も来場するので、の安全にも配慮するとともに、安全な競技進行を前提に、可能な範囲でその活動を支援する。

1.3 緊急時対応

- (1) 競技中の選手が緊急事態に陥った場合の救助ルート・連絡体制を把握すること。救助ルートを確認するため、必要に応じて選手を誘導／停止させること。

《海上救助基本ルート》

- ・ 救助艇／ライフセーバーのボード ⇒ バルコニー(氷川丸側) ⇒ 救護テント
- ・ 無線を持っているTO:大会本部に無線により連絡
- ・ 無線を持っていないTO:携帯で技術代表に連絡。または近くの無線をもっているTOに知らせ、大会本部に連絡してもらう。

携帯番号:

1.4 各ウェーブの以下の項目を正確に把握しておく。(P14の表を参照下さい。)

- (1) 大体の人数
- (2) スイムキャップの色
- (3) 整列時間、試泳開始時間、スタート時刻。
- (4) 1周回目とスイムフィニッシュの制限時間(何色のスイムキャップの選手が何時何分までにスイムを終了させないといけないか)

1.5 スイムスキップについて

- (1) 共通事項
 - ① このレースでは全てのカテゴリーでスイムスキップを許可する。
 - ② スイムスキップの受付は基本的に選手受付で行い、スキップ担当者より連絡される。
 - ③ スイムスキップは受付でのみ許可され、以下の場合には許可しない。
 - ▶ 計測マットを超えてからの申し出。
 - ▶ スイム受付後、招集エリアでの申し出。
 - ▶ 試泳後
 - ▶ スイムスタート後(一周回目、スイムフィニッシュ後、タイムオーバー及び、体調不良のピックアップ後)
 - ④ アンクルバンド配布直後、計測マット前でスイムスキップ申請があった場合は、アンクルバンドを回収し、スイム受付へ渡す。
※「(3)スイム受付での選手からの申し出について」を参照。
 - ⑤ スイムスキップ選手のスタートはトランジションより行う。スイムスキップ選手がスイムエリアに来た場合は、速やかにトランジションへ移動するよう、誘導する。
- (2) スキップ担当との連携について
 - ① スキップ担当者より、スイムスキップ者の連絡を受けたら、該当選手のアンクルバンドをピッ

- クアップする。
- ② ピックアップしたアンクルバンドは別途保管する。
- ③ アンクルバンドについては、スキップ担当者が……………
- (3) スイム受付での選手からの申し出について
 - ① 基本的にはスイム受付では、スイムスキップ申請を受けない事になっているが、選手から申告があった場合は対応する。
 - ② レースナンバーを記録し、アンクルバンドをピックアップする。
 - ③ 該当選手のレースナンバーをスキップ担当、トランジションへ連絡する。
 - ④ 該当選手に対し、スタートはトランジションである事を伝え、速やかにスタート地点へ移動するように誘導する。
- (4) スイムスキップ者のアンクルバンドについて
予備のアンクルバンドを使用する。但し、予備のアンクルバンドの不足が見込まれた場合、この別管理している、スイムスキップ者のアンクルバンドを使用する。連絡及び、アンクルバンドの受渡については、スイムスキップ担当が行う。

1.6 リレー選手のスキップについて

- (1) 共通事項
 - ① リレーのスイムスキップについては、上記の他に試泳後、スタート後、タイムオーバー時で認める。
 - ② リレー選手のスキップを受け付けた TO は M11 へ引き渡す。
 - ③ M11 はアンクルバンドを回収し、レースナンバを無線でトランジションへ伝える。
 - ④ 回収した、アンクルバンドは他の DNF 及び TOV と同じ管理とする。
 - ⑤ TOV の選手についても同様とする。
 - ⑥ スイムとバイクの担当者が同一選手である場合は、アンクルバンドを回収後、スキップスタート時間を選手へ伝え、トランジションへ向かわせる。この時、スイムとバイクの担当者が同一であることを無線で、トランジションへ伝える。

1.7 選手の持ち物について

- (1) バルコニー手前に「メガネ置き場」を設置するが、物品管理は「自己責任」とするまた、設置および管轄は組織委員会の担当とし、スイムパート TO は関与しないこととする
- (2) バイクセッティング終了後、集合場所(アンクルバンド渡し場所)まで山下公園内の移動に使った履物はウェーブ毎に分かれたコンテナボックスにウェーブ毎に収納させる。コンテナボックスはカゴの場合もあるため、使用個数は適宜決める
- (3) スイムフィニッシュ後トランジションエリアまでの履物は禁止とする(カーペットを敷くので、全員「はだし」で走らせる)→持ってきてしまった物は決められた場所で保管するが、紛失した場合、主催者側は責任を負わない
- (4) 落とし物(スイムキャップ・ゴーグル)は TO が回収し、競技終了後大会本部に届ける

1.8 レスチューブの使用について

- ① レスチューブの装着は OK。膨らませた場合は、ピックアップし競技終了(リタイア)とする。

1.9 給水について

- (1) スタートエリアの給水についてはエイド担当者の指示に従う。但し、スイム担当者もフォローする。
- (2) ポンツーン上のメディカル用の給水の準備を行う。ペットボトル、紙コップ、ゴミ袋を適宜ポンツーンに準備する。

2. リタイア対応

2.1 リタイアする選手への基本オペレーション

- (1) リタイア選手の状態を確認する。
- (2) メディカルの対応が必要な場合は、メディカルに引き渡す。
- (3) アンクルバンドの回収を行う。メディカル引き渡しの場合は、同時にアンクルバンドの回収を行う。
- (4) ポンツーン上で回収したアンクルバンドは M11 が管理する。
- (5) バルコニー側で回収したアンクルバンドは M10 が管理する。
- (6) M10 及び、M11 は回収した、アンクルバンドをグループ毎に整理し、写真撮影をおこなう。
- (7) 撮影したアンクルバンドの写真は LINE®にて共有する。(1.1 連絡体制を参照)
- (8) 回収したアンクルバンドは決められた場所で保管し、スイム終了後に計測会社へ渡す。この時、必ず手渡しし勝手に置いて行かないこと。
- (9) スイム会場以外でリタイア対応を行う場合は、リタイア場所を記入する。
※リレー選手がリタイアした場合も同様のオペレーションを行う。詳しくは「1.6 リレー選手のスキップについて」を参照。

2.2 選手の状況に応じたリタイア対応

- (1) スイム競技中(海上:ケース1 選手の意識がある)
 - ① ブイにつかまるなどして手を挙げている選手を速やかに発見する。
 - ② 監視船は当該選手のもとに急行する。
 - ③ 選手本人にリタイアの意思を確認する。
 - ④ 選手がリタイア申告をした場合は速やかに近隣の救助船またはライフセーバーに連絡し、選手を救助してバルコニーへ曳航させる。(コース内横断可)
- (2) スイム競技中(海上:ケース2=選手に意識がない)
 - ① 明らかに意識を失っていると思われる選手を速やかに発見する。
 - ② 監視船と近隣の救助船は当該選手のもとに急行する。
 - ③ 救助艇で選手を救助し、バルコニーへ曳航させる。(コース内横断可)。
 - ④ 直ちにメディカルスタッフによる応急措置を取らせる。
- (3) 周回中(ポンツーン上でのリタイア申告)
 - ① 明らかに意識が朦朧としている選手またはポンツーン上で倒れこんだ選手は一旦、他の選手の妨げにならない場所で休ませ、レース続行の意思を確認するレース続行が危険と判断した場合は、リタイア勧告する。
 - ② 選手がリタイア申告をした場合は、岸に向かってポンツーン右側を通過してバルコニーに移動させる選手が自力歩行できない場合、メディカルテントに担架を要請する。
 - ③ 必要に応じてメディカルスタッフによる応急措置を取らせる。
- (4) スイム終了後

- ① 明らかに意識が朦朧としている選手またはポンツーン上で倒れこんだ選手は一旦、他の選手の妨げにならない場所で休ませ、レース続行の意思を確認するレース続行が危険と判断した場合は、リタイア勧告する。
- ② 選手がリタイア申告をした場合は、他の選手の競技に支障のない場所に移動させる。
- ③ 必要に応じてメディカルスタッフによる応急措置を取らせる。
- ④ カットオフ計測地点で制限時間を超えた選手にリタイア勧告する。

3. 業務別詳細および留意点

- 特記なき場合は、競技運営マニュアルに準ずる。
- TOとVOの配置は、「設営概略図・スタッフ配置図」の通り。

3.1 前日確認

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
備品確認	CTO SCTO	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必ず、必要備品の確認を行う。 ・ 備品が無い場合は、事務局へ確認を行い、当日までに準備できるか確認しておく。 ・ 特にエアーホーンについては要確認の事。
会場確認	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場の設営状況を確認する。問題がある場合は、CTO、SCTO へ連絡する。 ・ CTO、SCTO は状況を確認し、必要であればTD、ATDにカイゼンを求める。 ・ パラの T1 設営、DNF 等の導線確認を行う。

3.2 スタート前

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
水温計測	M7 CTO	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の時間帯に水温/気温を計測し、TD へ連絡する。 6:30 にスイムコース上 3 カ所で計測を行う(M7) その後、7:00、8:00、9:00、10:00、11:00 にポンツーン上より計測を行う。(CTO/M7)
スイム受付	M1 VO (SCTO)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受付の準備及び、選手へのアンクルバンド渡しをVOへ指示する。 ・ スイムスキップ者の連絡があった場合は、記録し該当のアンクルバンドをピックアップし保管する。(DNSのアンクルバンドとは別保管する。) ※「1.5 スイムスキップについて」参照 ・ レースナンバー変更リスト/DNSリスト(受付前に連絡済のもの)があれば貰っておく。 ・ パラ選手のアンクルバンドをSEA チーフへ渡す。 ・ アンクルバンド渡し、選手待機エリアのコントロールはボランティアがメインに行い、TO は指示及び補佐を行う。 ・ 準備が整い、時間になったらアンクルバンド配布を開始すると同時に開始したことを無線で連絡する。(SCTO) ・ 受付時間になっても準備が整わない場合は、準備が遅れていることを無線で連絡をする。(SCTO) 準備が整い次第、アンクルバンド配布を開始し、開始したことを無線で連絡する。(SCTO)

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
招集・誘導	M2	<ul style="list-style-type: none"> バルコニー手前に「メガネ置場」を設置する。 履物を履いてきてしまった場合に入れるカゴをグループ毎に準備する。また、捨てる場所も準備する。 エイド担当者に招集エリアでの、水分補給を依頼する。
ポンツーン上給水確認	M5	<ul style="list-style-type: none"> 救護用のペットボトル(約 5 箱)、紙コップ、ゴミ袋が用意されている事を確認する。 用意されていない場合は、エイドより準備を行う。

3.3 スイム受付開始時

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
スイム受付	M1 VO	<ul style="list-style-type: none"> 選手のレースナンバーと氏名を確認し、確実にアンクルバンドを配布する。 スイムスキップについては「3.2 スタート前」と同様。 アンクルバンドは待機エリアの計測マットを超えた後に装着するように選手を促す。 予備のアンクルバンドを使用した場合は、選手のレースナンバー/氏名/カテゴリーをリストに記入しチーフに連絡する。 予備品を貸与した場合は、選手のレースナンバー/氏名/カテゴリーをリストに記録しておく。 スイムスキップ者、アンクルバンドを受け取っていない選手が、待機エリアに入らないように注意する。 招集時間に間に合わなかった選手については、時間を厳守するように注意した上で、可能な限り同ウェーブでスタートさせる。同ウェーブに間に合わなかった場合は、同グループの後続ウェーブでスタートさせることができる。この時、スイムの制限時間は本来のスタートウェーブの制限時間とすることを選手に了承してもらうこと。 グループ毎の全ウェーブの受付終了後、残ったアンクルバンドと、受付リストを照合し、相違がないか確認する。グループ毎にアンクルバンドの写真を撮影し、LINE®で共有する。 DNS 分のアンクルバンドはグループ毎にまとめて所定の場所に保管する。
招集・誘導	M2	<ul style="list-style-type: none"> 履物を履いてきてしまった場合、履物はグループ毎のカゴへ入れるように指示する。また、捨てるつものの履物は捨て場所へ入れるように指示する。 アンクルバンドは確実に足首に装着させる。(紛失したら計測されないとともに選手には弁償義務が生じる旨を説明す

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
		<p>る)</p> <ul style="list-style-type: none"> 選手をスイムキャップと同じプラカードを持ったボランティアの前に整列させる。整列後注意事項を説明する。注意事項については、P9「待機エリアでの説明ポイント」を参照。 プラカードを持っているボランティアと共に選手をポンツーンに移動させる。選手の列の先頭に TO が 1 名付く。 時刻を確認し、選手を試泳エリアに誘導する。 試泳エリア手前で M12 へ引き渡し。招集エリアへ戻る。(引き渡しタイミング等は M12 と相談の事。)

3.4 試泳～スタート

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
試泳監視および選手誘導	M12	<ul style="list-style-type: none"> 時刻を確認し、試泳を開始させる。ポンツーンに人がたまらないようにタイミングを確認する。 先導の TO はウェーブ全員が試泳エリアに移動したことをチーフに伝える(口頭または合図)。 試泳している選手に異常がないか監視する。 試泳は、1 周回。2 周回しないようにコントロールする。 前のウェーブがスタートしたら、次のウェーブの選手を試泳エリアからポンツーン経由でスタートエリアに誘導する。 スタート 3 分前までには試泳を終えてスタートエリアに移動するよう誘導する
スタートコントロール	M3 M4 M7 (M5/M6)	<ul style="list-style-type: none"> M4(M6)はポンツーンにきた選手を順次スタートエリアに誘導する。コース説明と注意事項を説明する。 注意事項については P10「ポンツーンエリアでの説明ポイント」を参照。 各ウェーブのスタート2分前までに、スタートエリアに誘導し、スタート待機させる。 M3 はスタート時刻までの残り時間を伝える。3 分前、2 分前、1 分前。但し 1 分前以降はカウントしない。 ポンツーンに座って待っている選手も、スタート 1 分前には入水させる。 スタートラインより下がってもらう。M7 は海上より、スタートラインより前に出ないように注意する。 フライングを厳しくとること、焦らずに穏やかに泳ぐ方向を確認してスタートすることを伝える。(穏やかな表情で) スタート時刻になったら、フライング状態にないことを確認

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
		<p>の上、ホーンを鳴らす。スターターをゲストが行う場合は、M3又は審判長がスタートのタイミングを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • M7 はフォルトスタートの監視を行う。
ペナルティ対応	M3 M4 M7	<p>《フォルトスタート(スターターがホーンを鳴らす前)》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1人、2人であればスタートラインまで戻して再スタート。(ペナルティなし) <p>《フォルトスタート(スターターがホーンを鳴らした後)》</p> <ul style="list-style-type: none"> • フォルトスタートした選手がいた場合は、選手のレースナンバーを控えておく。しかしながら、ほとんどの場合レースナンバーは確認できないので、ゴーグルの形や色等を控えること。 • フォルトスタートしたことが、その後のレースにおいて明らかなアドバンテージになったと判断された場合は審判長に連絡し、判断を仰ぐ。

3.5 競技中

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
選手の安全管理(救助艇)	M7 M8	<ul style="list-style-type: none"> • M8 は氷川丸側ブイのショートカットの監視を行う。 • 海上のピックアップについて <ul style="list-style-type: none"> ➤ M8 は各ウェーブ毎、スタートから 10 分経過し第 1 ブイに到達できない選手に対し、リタイア勧告、ピックアップを行う。(主に M8) ➤ M8 は各ウェーブ毎、2 周回目第 3 ブイに 40 分以内に到達できないと判断される選手については、第 3 ブイから第 3 ブイの間で、リタイア勧告、ピックアップを行う。(主に M8) ➤ ピックアップはライフセーバでも構わないが、指示は TO が行う。 • 危険な(溺れそうな)選手の監視/声掛け/リタイア勧告を行う。 • リタイア勧告した選手を引き上げバルコニー(基本的に氷川丸側)へ搬送する。 • リタイア選手を M10(M6)へ引き渡す。尚、緊急の場合はポンツーンへ搬送される可能性がある。搬送先については監視船のライフセーバーと連携して決める。 • グループ毎に最終ウェーブの制限時間を越えてもスイムフィニッシュできない選手については引き上げる。(ライフセーバーとの調整が必要) • リタイアの対応については「2.リタイアする対応」「1.6 リレー選手のスキップについて」を参照。 • エイジパラの選手が制限時間 45 分経過時にフィニッシュまで 100m 以上の場合、引き上げを行う。

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
選手の安全管理(陸上)	全 TO	<ul style="list-style-type: none"> • 各 TO は選手スタート後、担当業務についていない場合は陸上より選手の監視を行う。(双眼鏡等を使用し、泳ぎ方、顔色等を判断する) • 危険な選手を発見した場合は、近くのライフセーバー、救助艇へ連絡し対応してもらう。 • ポンツーン上の TO は1周回目を終了し、ポンツーンにあがってくる選手の状態の確認を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 明らかに疲れている選手、体調不良として見て取れる選手については2周目入水前に声掛けを行う。必要であれば休息させる。 ➢ 疲労が激しい選手、具合の悪そうな選手についてはメディカルスタッフに対応を依頼する。 ➢ 疲労が激しい選手については継続、リタイアの意思確認を行う。 ➢ 継続の意思があり、継続できる状態であれば、競技を継続させる。それ以外の選手はリタイア勧告を行う。
周回管理	M5 M4 (M6)	<ul style="list-style-type: none"> • 1周回目を終えた選手が2周回目に入るとき、入水位置まで選手を誘導する。 • 他の選手やスタート待機中の選手と接触しないように、誘導する。 • 入水位置に立ち、「ここで入水してください」と声掛けを行う。同時に「頭からの飛び込みは禁止です」「飛び込まないでください」「足からゆっくり」と注意する。 • 各グループの最終ウェーブのスタート時に第1ウェーブの選手が周回に入る可能性が有る場合は、これをコントロールする。(スタートエリアより手前で周回させる) • ポンツーン上で選手に水分を要求された場合は、予め救護用に用意したペットボトル、紙コップで対応をする。

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
周回時タイムカット	M6	<ul style="list-style-type: none"> オリンピックディスタンス 1 周回目で制限時間(22 分 30 秒)を超えた選手にリタイア勧告する。リタイアの対応については「1.5 リタイア対応」を参照。 体調不良と見て取れる選手に対しては、2 周目の入水前に必ず声がけすること。 タイムカット後はアンクルバンドを回収し、プレトランジションエリアに選手を集合させる。 アンクルバンドは記録・連絡担当へ渡す。 ポンツーンでリレー選手がリタイアした場合は、無線でトランジションへ連絡する。(SCTO) ポンツーン付近の海面の清掃を行う。潮の流れによってはポンツーン付近に大量のゴミがたまるため、用意されたタモでゴミを回収する。
誘導(タイムカット者誘導)	M9	<ul style="list-style-type: none"> タイムカット者をポンツーン上のプレトランジションエリアへ集合させる。 グループの周回毎に、タイムカットされた選手を招集エリアへ誘導し外にだす。(導線確認)
リタイア対応(氷川丸側バルコニー)	M10	<ul style="list-style-type: none"> 救助船で搬送されてきた要救護者とリタイア者の対応を行う。リタイアの対応については「1.5 リタイア対応」を参照。 氷川丸バルコニーでリレー選手がリタイアした場合は、無線でトランジションへ連絡する。(M10) アンクルバンドをグループごとに取りまとめ、LINE®グループで共有する。

3.6 スイムフィニッシュ

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
最終周回目タイムカット	M6	<ul style="list-style-type: none"> スイムフィニッシュ時、ポンツーン上で制限時間(エイジパラ 45 分、スタンダード 45 分、スプリント 25 分)を超えた選手については、リタイア勧告する。リタイア対応については「1.5 リタイア対応」「1.6 リレー選手のスキップについて」を参照。

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
誘導	M9	<p>《タイムカット者誘導》</p> <ul style="list-style-type: none"> タイムカット者をポンツーン上のプレトランジションエリアへ集合させる。 グループの周回毎に、タイムカットされた選手を招集エリアへ誘導し、外にだす。 <p>《トランジションへの導線誘導》(※補助 M11)</p> <ul style="list-style-type: none"> スイム UP した選手をトランジション側へ誘導する。 <p>《最終スイムアップ者確認・後追い》</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ毎に最終スイムアップ者を確認し、トランジションまで後追いする。 トランジションまで距離があるため、最終選手が前の選手を抜いた場合は、抜かれた選手に付く トランジション入り口でトランジション担当者へグループの最終選手であることを伝える。
記録/伝達	M11	<ul style="list-style-type: none"> グループ選手がすべてフィニッシュしたら(制限時間になったら)、ポンツーン、ポンツーン側バルコニーで回収したアンクルバンドを整理し、LINE®グループで共有する。

3.7 スイム終了

業務・ポイント名	主担当者	業務詳細・留意事項
備品の整理	SCTO	<ul style="list-style-type: none"> 各パートで使用した備品を確認する。消耗品を除く備品がそろっていることを確認する。
ミーティングの実施	CTO	<ul style="list-style-type: none"> スイムパートでのミーティングを実施する。
その他	全員	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ等があれば整理を行う。 忘れ物、落し物はまとめる。メガネ置場のメガネが残っている場合は、まとめて本部へ持って行く。履物はそのままその場に残す。(選手が自ら取りに来る。) 備品を手分けして本部へ運搬する。 休憩後、他のパートからのヘルプの要請があれば、適宜対応する。

説明のポイント

1. 待機エリアでの説明ポイント

- (1) アンクルバンドについて
 - ・ アンクルバンドは、フィニッシュまでつけていくこと。
 - ・ アンクルバンドをつけているか。番号とレースナンバーが合っているかの確認。
 - ・ アンクルバンドをつけていない場合はDNSになること。
 - ・ アンクルバンド配布係は間違える事もあるので、レースナンバーとアンクルバンドの番号が合っているか確認するのは選手の義務であること
 - ・ アンクルバンドは、トランジションで、ウェットスーツと一緒にとれて外れることがあるので注意。
 - (2) 試泳・スタートについて
 - ・ スタート 15 分前に試泳エリアに入水する。
 - ・ 試泳はスタート 5 分前までの 10 分間で 1 周回を必ず行うこと。(2 周回はしないこと)
 - ・ 水温が〇〇℃と低いので、十分なウォーミングアップをすること
 - ・ スタート 5 分前(前のウェーブのスタート後)にTOから合図があるので、ポンツーンに一旦上がって、スタートエリアに移動する。
 - ・ 静かに入水し、飛び込みは禁止する。
 - ・ スタートはフローティングスタートであるが、ポンツーンにつかまってスタートしても良いこと。
 - (3) ポンツーン上での注意事項
 - ・ ポンツーン上では、レース中の選手・医療関係者・メディア関係者と交錯するので、左側通行を守り、T Oの指示に従うこと。
 - ・ 1周から2周回への移行時は、スロープからポンツーンに上がり、足から静かに入水すること。
 - (4) 制限時間について

《スタンタード》

 - ・ 第1ブイまでに 10 分以上かかる場合には DNF になる可能性があること
 - ・ 1周回終了時、フィニッシュ時の2回関門を設けること
 - ・ 1周回終了時はポンツーンに上がった時点で 22 分 30 秒であること
 - ・ スイムタイムカットはポンツーン上、制限時間 45 分で行う。このため、山下公園に入った所にある計測タイムとは異なる。

《スプリント》

 - ・ スイムタイムカットはポンツーン上、制限時間 25 分で行う。このため、山下公園に入った所にある計測タイムとは異なる。
 - (5) 救助について
 - ・ ウェットスーツを着ているので、リラックスをすれば浮く
 - ・ 泳いでいるときに、ライフセーバーのボードなどにつかまるのはOK。
 - ・ 救助が必要な場合は、頭の上で手を振れば、ライフセーバーが救助に向かうこと。時には勇気あるリタイアも重要である。
 - ・ 緊急時(要救護者が出た時)は、救助艇やレスキューボードが救助のためにコースに進入するので、止まってもらうこと。
 - ・ レスチューブを所持している場合は、膨らまして待つこと。
- 以上 安全を重視して、楽しんで下さい。

2. スタートエリアでの説明ポイント

- (1) スタート方法及びスタートライン
- (2) コースの大まかな説明(どのブイをターンするか等)
- (3) 2周回目の入水時はポンツーンから飛び込まず、スタンダードでは足からゆっくり入水すること。
- (4) スタート1分前までにスタートラインより手前に下り、待機すること。守らない場合はスタートを認めないこともあること。
また、余裕があれば興奮状態にある選手に落ち着いてスタートしてもらえよう、緊張をほぐすようなトークを交える。
(結構大事)
適宜、説明を理解できなかった選手からの質問に答える。

3. 競技説明会で伝えてほしいこと (スイムパートからの要望)

- (1) オリンピックディスタンスは 750m を 2 周回、スプリントは 1 周回とする(周回不足は失格)オリンピックディスタンスの 1 周回目の制限時間(22 分 30 秒) また、7.3.2 アンクルバンドを受け取ったら速やかに足首に装着し、TO の指示に従って整列すること
- (2) スタート前の待機方法(ウェーブ全員水中からフローティングスタートをする=ポンツーン上での待機禁止)およびフォルトスタートに関して
- (3) 上記 2 周回目への移行に関して全般(特に「頭からの飛び込み禁止」について)
- (4) 7.3.5 上記 4.2「ポンツーン上の交通整理」に関して
 - ・ スタート前バルコニーからポンツーンへ移動する選手およびスイムフィニッシュした選手は「左側通行」を厳守すること
 - ・ スタート前バルコニーからポンツーンへ移動する選手は、オフィシャルの指示に従い、周回する選手およびスイムフィニッシュした選手の進路を妨害しないように一時停止をし、道を譲る(あける)こと
- (5) スイムスキップについては、受付で行い、招集エリア入場後、試泳後、スイムスタート後は認めない。
- (6) 1 周回目終了後、ポンツーンに上がりコーンで表示された指定入水ポイントより入水すること。入水にポイントに関しては TO の指示に従うこと。
- (7) 上記 6.1「選手の持ち物について」、特に履物についての取り扱い
- (8) 昨年と同様に UITEMATE に使用に関する注意点
- (9) レスチューブの使用について、装着 OK。膨らませた場合はリタイア
- (10) スイムエリアまで履いてきた履き物の受け取りについて
- (11) スイムフィニッシュの制限時間計測ポイントとリザルトの計測ポイントの位置の違いについて

タイムテーブル

5月19日(日)

スタンダード スイム 2周回
 リレー バイク 6周回
 ラン 象の鼻2回、山下埠頭3回

スプリント スイム 1周回
 バイク 3周回
 ラン 象の鼻1回、山下埠頭2回

エイドステーション
 スイムスタート
 バイクスタート
 ランコース

荷物預かり 6:30~15:10

S 女性：アインツシエリア

トランジションエリア (女子のみアインツシエリアにも有り)

交通規制 7:00~13:10
 スカニック 6:00~15:00
 バイクバックアップ 13:00~15:10

【スタンダード】	No	アカバント*配布 / 品切れ*受付	人数	整列	プレト*移動 ~ 試泳	ST	第1回	1周回	2周回 第3回	制限 時間	カテゴリー	キャップ	グループ TR	スキップ 集合	スキップ スタート	物音が 予定	【ラトラリアスロ】	
																	カテゴリー	人数
エイジPara	61~75		15+15	-	-	7:15	-	-	-	8:00	TRI6	グリーン	バラ	7:40	7:45	6:00 ~6:30	TRI-S (1)	1 ブルー
	-	6:45~7:00	14	-	-	7:20	-	-	-	8:05	TRI- S,1,2,3,4, 5	-	バラ	7:40	7:45	6:00 ~6:30	TRI1(11~12)	2 レッド
第1ウエーブ	1001~1149		149		7:45~7:55	8:00	8:10	8:22:30	8:40	8:45		パープル				6:00 ~7:15	TRI2(21)	1 イロ
第2ウエーブ	1201~1348	7:20~7:35	147	7:40	7:50~8:00	8:05	8:15	8:27:30	8:45	8:50	男子40-49	ブルー	A	9:00	9:05	6:00 ~7:15	TRI3(31~35)	5 イロ
第3ウエーブ	1401~1548		148		7:55~8:05	8:10	8:20	8:32:30	8:50	8:55		オレンジ					TRI4(41~43)	3 イロ
第4ウエーブ	2001~2086		86		8:45~8:55	9:00	9:10	9:22:30	9:40	9:45	男子19-29	レッド					TRI5(51~53)	3 イロ
第5ウエーブ	2201~2294		94	8:40	8:50~9:00	9:05	9:15	9:27:30	9:45	9:50	男子30-34	イロ	B	10:00	10:05	6:00 ~8:15	TRI6(61~75)	15 グリーン
第6ウエーブ	2401~2507	8:20~8:35	107		8:55~9:05	9:10	9:20	9:32:30	9:50	9:55	男子35-39	グリーン					Guide	15 ホワイト
第7ウエーブ	2601~2707		107		9:00~9:10	10:00	10:10	10:22:30	10:40	10:45	男子55-59	ホワイト						
第8ウエーブ	3001~3117		117		9:50~10:00	10:05	10:15	10:27:30	10:45	10:50	男子50-54	パープル						
第9ウエーブ	3201~3313		113		9:55~10:05	10:10	10:20	10:32:30	10:50	10:55	男子50-54 男子60-	ブルー						
第10ウエーブ	3401~3515	9:25~9:40	115	9:40	10:00~10:10	10:15	10:25	10:37:30	10:55	11:00	女子40-	オレンジ	C	11:00	11:10	6:00 ~9:15		
	3601~3659		59								女子39	ホワイト						
第11ウエーブ	3701~3707		7		10:05~10:15	10:20	10:30	10:42:30	11:00	11:05	リレ (女)	ホワイト						
	3711~3720		10								リレ (混)	ホワイト						
	3731~3753		23								リレ (男)	ホワイト						
【スプリント】	No	アカバント*配布	人数		プレト*移動 ~ 試泳	ST	第1回	1周回	2周回 第3回	制限 時間	カテゴリー	キャップ	グループ TR	スキップ 集合	スキップ スタート	物音が 予定	【受付時間】	
第12ウエーブ	101~151		51		10:55~11:05	11:00	-	-	-	11:25	女子	イロ					グループ	時間
第13ウエーブ	201~266		66		10:50~11:00	11:05	-	-	-	11:30	男子45-49	グリーン					バラ	6:00~6:15
第14ウエーブ	301~343	10:30~10:45	43	10:40	10:55~11:05	11:10	-	-	-	11:35	男子60-	ホワイト	D	11:50	11:55	6:00 ~10:15	A(1~3)	6:00~6:50
第15ウエーブ	401~484		84		11:00~11:10	11:15	-	-	-	11:40	男子40-44	パープル					B(4~6)	6:00~7:50
第16ウエーブ	501~553		53		11:05~11:15	11:20	-	-	-	11:45	男子50-59	ブルー					C(7~9)	6:00~8:50
											男子19-39	ブルー					D(10~14)	6:00~9:50

スイム	バイク
スタンダード	表参照
スプリント	表参照
制限時間	13:05
	13:10

※バイク最終スタート時間 12:35

※バイク競技終了 12:55

スイム	バイク
リレスキップ	集合
スタート	スタート
	13:05
	13:10

備品

No	備品名	数量	単位	用途	設置場所	備考
1	スタートホーン	1	個		ポンツーン	
2	スタートホーン 予備	1	個		ポンツーン	スタートホーン又は、スターフォン用ガスボンベスペア
3	トラメガ	6	台	スタート召集、 注意事項説明等	ポンツーン2 台 試泳2 台 召集 1 台 スイム受付1 台	少なくとも2台は大音響タイプ
4	プラカード	—	—		召集 スイム受付	各ウェーブ分。(昨年と同様)
5	プラカード用竿 と看板	5	本	プラカード送付 用	招集	
6	テーブル	5~6	台	アンクルバンド 配布及び、スキップ 対応	スイム受付	
7	椅子	10	脚	受付用 リタイア対応用	スイム受付 2 脚 バルコニー 各4 脚	
8	スイムキャップ 予備				スイム受付	各ウェーブのカラー全色
9	アンクルバンド 用輪ゴム予備				スイム受付	
10	ウェーブとキャップの色が分かる資料	2	枚		スイム受付	
11	アンクルバンド 装着方法の注意書き	2~3	枚		スイム受付	パウチして使いまわせるようにして欲しい
12	ポリ袋 (ゴミ袋)	30	枚	アンクルバンド、 ペットボト		ポンツーン 3 枚 バルコニー 各5 枚

No	備品名	数量	単位	用途	設置場所	備考
				ル回収等		スイム受付予備7枚
13	ガムテープ	4	個		ポンツーン 1個 スイム受付 1個 バルコニー 各1個	白1個 表面に文字が書けるもの3個
14	ボールペン	5	本		スイム受付	
15	マジック	7	本		スイム受付 2本 ポンツーン側バルコニー 3本 氷川丸側バルコニー 2本	マッキー
16	給水用ペットボトル	2	箱	救護用水	ポンツーン	500mlのペットボトル (審判テントより調達)
17	選手名簿	2	部	アングルバンド 配布	スイム受付	
18	コーン コーンバー 標識テープ	5 4 1	個 本 個	ポンツーン上 周回時の誘導	ポンツーン	どのように使用するか 調整要
19	履物入れ(レジカゴ)	30	個	履物入れ	召集	4個×5グループ+予備
20	水温計	1	個		ポンツーン	
21	ほうき/デッキ ブラシ	2	本		ポンツーン	
22	タモ	4	本		ポンツーン	
23	複写式メモ用紙	3	冊	DNS、DNFリスト 作成用	ポンツーン、その他	
24	水	30	本	救護用	ポンツーン	
25	紙コップ	適量		救護用	ポンツーン	
25	ゴミ袋	適量		救護用	ポンツーン	
26	ポンツーン専用 マイク	1	本	ポンツーン上での 選手コントロール用	ポンツーン	トラメガでは全ての選手に 声が届かない

体制

No	ポジション	氏名	所属	無線	トラメガ	備考
1	CTO	元嶋 直子	神奈川県	○		
2	SCTO	梅田 淳	神奈川県	○		兼招集エリア統括
3	SCTO	志賀 宏行	神奈川県	○		兼ポンツーン統括
4	M1	木幡 智彦	宮城県			
5	M1	伊藤 誠	北海道			
6	M1	角田 剛	香川県	△		スイムスキップ担当
7	M2	山田 和彦	神奈川県		○	
8	M2	山崎 和宣	三重県		○	
9	M2(M6)	田 福順	神奈川県			SEA 終了後、言語対応
10	M3	稲田 隆俊	神奈川県		◎	
11	M4	青山 英司	神奈川県		○	
12	M5	北島 礼子	神奈川県			
13	M6	井口 大介	東京都			
14	M6	佐藤 秀雄	東京都			
15	M7	谷井 啓一	兵庫県	△		
16	M8	和田 桂子	神奈川県	○		
17	M9	八木 健	愛知県			
18	M9	中尾 聡志	神奈川県			
19	M9	鈴木 忍	千葉県			
20	M10	石井 なおみ	千葉県	○		
21	M10	西田 正生	広島県			
22	M10	北野 健二	東京都			
23	M11	渡守 俊子	大阪府			
24	M11	鎌下 優一	神奈川県	○		
25	M12	小原 博史	神奈川県		○	

No	ポジション	氏名	所属	無線	トラメガ	備考
26	M12	門屋 良	愛知県			